

施策分析シート（平成22年度）

No1

施策名	資源循環型社会の形成	施策No	07-03	部課名	環境清掃部清掃リサイクル課
課長名	平野 興一	内線	448		
関連部課名	環境清掃部荒川清掃事務所				
行政評価	分野	環境先進都市[]			
事業体系	政策	地球環境を守るまちの実現[07]			

目的

- ・大量生産・大量消費・大量廃棄の一方通行のシステムを見直し、区民、事業者、行政が連携し、それぞれの役割に応じて行動することにより、循環型社会を実現する。
- ・ごみの減量と資源化・再利用というリサイクルの視点に立った循環型清掃事業を区民、事業者、行政が一体となって展開する。

指	施策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		19年度	20年度	21年度	22年度	目標値 (28年度)	
標	ごみ排出量：トン/年	61,627	58,991	60,613	(50,000)	30,000	5割減が目標 (18 28年度)
	資源回収量：トン/年	12,293	12,212	11,916	(13,000)	17,000	5割増が目標 (18 28年度)
	集団回収モデル事業参加 町会数	115	118	118	(118)	119	20年度中にほぼ全町会で実施 済
	リサイクル率：%	16.6	17.1	16.5	(20.0)	36.2	$(\text{資源量} / (\text{ごみ量} + \text{資源量})) \times 100$

現状と課題（指標分析）

- ・ごみ排出量を削減するために、家庭ごみの4割を占める生ごみの減量化、マイバッグの利用（レジ袋の削減）等を推進する。併せて、目標値達成のための施策を総合的に推進するために、ごみに含まれる資源の分別を更に徹底するほか、更なる資源回収品目の拡大やごみ減量化に対する区民の意識改革にもつながると考えられるごみの有料化等を検討する必要がある。
- そのためには、区民や事業者の理解と協力を得ることが課題である。
- ・資源回収量については、分別指導の徹底等を行うことにより、目標値達成を目指す。

今後の方向性

《今までの成果及び指標分析を踏まえて》

- ・荒川区の資源回収は集団回収による実施を基本としており、今後も住民が集団回収を円滑にできるよう、支援体制の充実に努めていく必要がある。
- ・更なる資源回収品目の拡大について、その実施方法やルート等の検討を進めるとともに、その他のプラスチックについても、費用対効果や実行性等も考慮し、再生利用のあり方について方向性を固める必要がある。

施策の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
推進	推進	持続可能な資源循環型社会を実現する。

施策分析シート（平成22年度）

No2

施策を構成する事務事業の分類						
事務事業名	事務事業 No	決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		20年度	21年度	前年度設定	今年度設定	
一般廃棄物処理業等許可事務事業	05-02-01	4,293	411	推進	継続	業者の資質及び取扱量精度の向上を図り、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る必要がある。
広報普及事業	05-02-04	3,153	3,111	推進	推進	ごみ減量・リサイクルを推進するためには、区民や事業者の意識改革、実践が不可欠である。
リサイクル実践活動事業	05-02-06	0	0	継続	継続	区民のリサイクル実践活動がさらに地域に根付くよう引き続き場の提供、支援を行う。
集団回収支援事業	05-02-07	323,612	328,357	重点的に推進	重点的に推進	区のリサイクル支援事業の中核的業務であり、さらなる推進を目指す。
空き缶圧縮機整備事業	05-02-08	135	58	継続	継続	現状の体制で実施していく。
ストックヤード整備事業	05-02-09	223	605	継続	継続	現状の体制で実施していく。
資源回収事業 (清掃リサイクル課・荒川清掃事務所)	05-02-10 05-03-15	24,593	16,966	推進	推進	集団回収支援事業と一体的な実施等により資源化を推進させていく。
トレイ回収事業	05-02-11	2,426	1,910	推進	推進	集団回収支援事業と一体的な実施等により資源化を推進させていく。
資源化・再商品化事業（びん・缶・ペットボトル）	05-02-12	7,368	6,588	推進	推進	回収資源を再生資源として流通させるためには、選別等の資源化が必要である。
尾竹橋施設管理運営事業	05-02-13	0	11,465	推進	継続	現状の体制で実施していく。
普及啓発事業費	05-02-14	0	456		推進	リユース事業等、区民の3R活動をアシストすることは、さらなる環境意識の向上に不可欠である。
生ごみ処理機等購入助成事業費	05-02-15	0	0		重点的に推進	ごみ減量化のためには、生ごみ対策を重点的に行うことが効果的である。
新リサイクルセンター整備事業	05-02-16	0	0	重点的に推進	重点的に推進	循環型社会の形成には、安定的な資源中間処理体制の整備が不可欠なため、優先度は高い。
ペットボトル店頭回収事業	05-03-16	18,828	18,985	継続	継続	集団回収等の一体実施により、資源化を推進していく。
合 計		384,631	388,912			